

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 北本市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
9,955	906	625	11,486

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	16,230	15,454	776	747	163	13,497	
北本市都市計画事業北本駅東口土地地区画整理事業特別会計	114	114	0	0	112	802	
北本市都市計画事業久保土地地区画整理事業特別会計	288	267	21	21	103	681	
埼玉県央広域公平委員会特別会計	0	0	0	0	-	-	
一般会計等	16,334	15,537	797	768	-	14,980	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	6,465	6,285	180	180	481	-	-	
介護保険特別会計	2,314	2,228	86	86	386	-	-	
老人保健特別会計	3,612	3,561	51	51	305	-	-	
北本市公共下水道事業特別会計	1,646	1,589	57	57	546	6,436	4,087	
公営企業会計等 計				374		6,436	4,087	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
埼玉県央広域事務組合(一般会計)	3,571	3,544	27	27	164	1,313	318	
埼玉県央広域事務組合(斎場特別会計)	477	464	13	13	389	1,584	291	
埼玉中部環境保全組合	1,070	1,027	43	43	20	534	158	
北本地区衛生組合	514	494	20	20	28	388	239	
桶川北本水道企業団	2,878	2,535	343	343	-	4,063	-	
一部事務組合等 計				446		7,882	1,006	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
北本市土地開発公社	0	435	3	-	-	411	-	80	
北本市公園緑地公社	1	202	200	-	-	-	-	-	
...									
地方公社・第三セクター等 計			203	-	-	411	-	80	

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		763	
減債基金		14	
その他充当可能基金		2,856	
充当可能基金 計		3,633	

- (注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	6.63	6.68	0.05	△ 13.12	△ 20.00	北本市公共下水道事業特別会計		12.7	
連結実質赤字比率		9.94		△ 18.12	△ 40.00				
実質公債費比率	14.6	10.5	△ 4.1	25.0	35.0				
将来負担比率		26.2		350.0					
財政力指数	0.83	0.86	0.03						
経常収支比率	88.9	92.5	3.6						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。